

2022 年度「大学院生・若手研究者海外学会発表支援制度」の支援対象について

日本社会心理学会
会長 岡 隆

2022 年度「大学院生・若手研究者海外学会発表支援制度」の支援対象について、規程に従い選考を行いました。今年度は海外に渡航しての学会参加が困難な状況が継続していることを踏まえ、支援対象を渡航費だけでなく、学会参加費にも適用することとし、オンラインでの参加となった場合は、参加費を支援するというで募集を行いました。

研究支援担当常任理事・工藤恵理子氏(東京女子大学)を委員長とし、大江朋子氏(理事: 帝京大学)、石井敬子氏(名古屋大学)、繁榊江里氏(青山学院大学)、斎藤和志氏(愛知淑徳大学)の各氏を委員とする選考委員会が構成されました。応募は、若手枠に 1 件あり、選考の結果、支援対象とすることを決定しました。

<支援対象者(敬称略)、発表題目、発表学会>

林 萍萍
(神戸大学国際文化学研究推進インスティテュート・協力研究員)

発表タイトル: Why the general trust of Chinese people is higher than that of Japanese people?

発表学会: International Association for Cross-Cultural Psychology